

V. 特記事項

1. 小規模大学ならではの機動力ある体制

本学は、生涯学習学部生涯学習学科の1学部1学科であり、収容定員4,000名の小規模な通信制大学である。教職員は出勤日程が様々であり顔を合わせる機会は多くないが、あらゆる業務においてメーリングリスト（全職員、全教員、委員会など）を活用することで、スムーズな情報共有や対応を可能としている。そしてそのメーリングリストには学長と理事長も入っており、常に現場の状況を把握することができている。

また、学内の主な委員会を総務委員会と教務委員会の2つに集約し、会議をほぼ100%オンライン化している。さらに、各種稟議、休暇申請、出張申請などもオンライン化していて、紙媒体でのやり取りは必要最低限に留めている。

こうした小規模大学ならではの機動力ある体制により、迅速な判断が可能となっている。

2. 社会人学生に合わせた支援体制

本学には、10代～80代の幅広い年代の学生が在籍しており、社会人学生が多数を占めている。そのため、学生支援においても社会人学生を想定した体制を採っている。

学生支援センターは、5月の大型連休の一部と年末年始休業を除き、土日祝日も開いている。受付時間は平日9:00～18:00、土日祝日9:00～17:00としているが、授業時間に合わせて延長しており、急なパソコントラブル等の問合せにも対応している。eラーニング・システム「SOBA マナベル」には質問機能を備えているものの、電話での問合せも多く、社会人学生が相手であることを意識した丁寧な対応に力を入れている。その他、「学生支援センター説明・交流会」も毎月1回、土日のどちらかに開催している。

また、「理事長ホットライン」という、メールで理事長に直接連絡できる珍しい窓口があり、「SOBA マナベル」内にリンク先を設けている。

3. シニア学生の受入れと就職支援

本学では、学費のシニア割引（50代以上の学生を対象とした学費定額プラン）を設けており、全体の約30%という高い割合で50代以上の学生が在籍している。夢だった大学卒業を目指す学生、生涯学習を求める学生など様々だが、中には本学で資格を取得し、再就職を希望する学生もいる。特に司書は人気が高く、キャリアコーディネイト室では、「就活対策（司書×50代～向け）」の就活セミナーを開催して中高年のセカンドキャリアを支援している。大学ホームページの「【就職・進学支援】キャリアコーディネイト室 利用者の声」ではその一例を紹介しているが、社会人学生が多い本学の特性に応じた就職支援に力を入れている。